

「パンスタードリーム」乗船会報告

会員 福富 廉

本学会の学生会員企画として企画された韓国パンスターラインの大阪～釜山航路「パンスタードリーム」の乗船会に一般会員も参加させていただけることになり、往復乗船してきたので、レポートしたい。なお、本企画を計画・実施された学会の方々と物心両面で多大なご支援をいただいたパンスターライン社様に冒頭で御礼申し上げておきたい。

1. 乗船会の概要

往航 2024年3月1日（金）16:20（17:00）～2日（土）11:45（12:00）（）内は定刻

復航 2024年3月3日（日）14:45（15:00）～4日（月）09:20（10:00）

参加者 23名（復航は22名）

内訳 一般会員 4名（池田事務局長夫妻、松本会員、筆者）

大阪公立大学海洋システム工学分野 片山教授（往航のみ）と学生18名

釜山では現地1泊したが、全て自由行動で、宿泊先も各々が確保した。

今回利用した「パンスタードリーム」は、1997年3月に三菱重工業下関造船所で竣工した東京～那智勝浦～高知航路の元ブルーハイウェイラインの「さんふらわあ くろしお」で、就航時は“浴衣でくつろぐ船の旅”のキャッチフレーズが使われていた。2001年10月の運航休止後の2002年、韓国パンスターラインに購入され、以降、パンスタークルーズのクルーズフェリーとして本船名で釜山～大阪航路を週3往復と釜山港で週末デイクルーズを実施している。

筆者は、運航休止直前の2001年9月に「さんふらわあ くろしお」に乗船し、コロナ禍も明け、日韓友好の促進、そして、昨年11月の本学会総会でのパンスターライン社様の新造船に関する講演の聴講とも相まって、一度、本船にも乗船したいと考えていたおりに、本企画が実施されることになり、さっそく参加申し込みをした。



東京湾を往く「さんふらわあ くろしお」



高知の浦戸湾に入港する同船

2. 大阪から釜山へ

15 時の集合を目指して、参加者が続々と大阪国際フェリーターミナルの 3 階ラウンジに到着した。その他の乗客も結構多いのがうれしい。パスポートを預けてチェックインし、15 時過ぎ、出国審査を経てターミナルから本船までシャトルバスで移動した。乗船して、確かこうだったなあと思いながら 2 段のエスカレーターでエントランスに入った。レストランとつながった



大阪南港での「パンスタードリーム」(帰着時の 4 日撮影)

エントランスは前の構造のままだが、韓国的雰囲気、デューティーフリーショップ等々、国際フェリーの感触がうれしい。

今回、利用させていただいたのは 2 階のデラックススイートの 1 人利用。ベッドが大きくて少しもったいない気がしたが、まず感じたのは“窓がきれい！”と言うことだった。先日乗った国内フェリーも潮だらけだったので、とてもうれしかった(ただし、復路はそうでもなくて....)。それから、さっそく船内探検。改装された船内の床や壁、手摺等の材料や塗装の感じが日本のフェリーとかなり違うのに目が行った。また、覗き見たスタンダードタイプの船室も床が板張りなのも初めての経験だ。以前、台湾のフェリーの乗った際、畳張りのベッドにびっくりしたが、お国其々なのだろう。外部デッキはブリッジの直後まで全て行くこともできたのが驚きだったが、後部のカフェ夢が増築されたため、後部はやや窮屈な感じがした。一方、デラックススイート以上にはカードキーが渡され、コーヒー／紅茶のフリードリンクが付き、船の前方が見える専用ラウンジ (THE PARADISE) をできる特権があるのはとてもありがたいことだった。

さて、船内散策していて、ふと外を見ていたら、まだ 16 時過ぎなのに、全てのランプもギャングウェイも格納されていて、各ホーサーに作業員がアテンドしているのが見えた。あわててカメラを船室に取りに行ったら、船はもやいを解いて離岸し始めていた。40 分ほどの早発。前に別の海外のフェリーでもあったことだが、シップウォッチングのためにはウカウカしてられない。



廃館して無残な旧“なにわの海の時空館”前を通過
奥に「さんふらわあ きりしま」のファンネルが見える

本企画では、明石海峡付近でブリッジ見学が予定されていて、当初は 17 時半の集合とされていたが、船がかなり早発したために 17 時過ぎには明石海峡大橋がだんだん近づいてきて心配したが、早めの見学が始まった。乗組員が韓国の方なので詳しい説明は無かったが、皆さん堪能したのではないだろうか。船の計器の一部に日本語表記が見られたが、あとで気づいたのは部屋のベッド

サイドのパネル位で、ほとんどは韓国製のものに代わって英語も無く、韓国語表記しかないものも結構あった。その後、船はジャンボフェリーの「あおい」や九州急行フェリーの「むさし丸」等と反航ながら播磨灘を進んで行った。



明石海峡を間近にしてのブリッジ見学会



反航するジャンボフェリー「あおい」



反航する九州急行フェリー「むさし丸」

さて、本企画の参加者は18時10分から1階レストランの後ろの“マスカレード・ラウンジ”で夕食。クルーズ食と呼ばれる特別食で、今回は韓国料理の参鶏湯（サムゲタン）。アツアツの鳥、アワビ、エビの入った鍋で、大満足の食事だったが、さすが学生諸子の一部はそれだけでは物足らなかったようで、何人かはビュッフェに追加を求めて行って来たようだった。ちなみに、船社からはかなりの量の赤ワインの差し入れがあり、これもありがたく頂戴して、私たちのテーブルでは船談議も盛んに行われていた。



夕食に供された参鶏湯のセット（池田事務局長撮影）

その後、20時15分からレストランでカラオケ大会。司会が入ったショー仕立てだし、韓国語／日本語の2か国語の歌／説明ぶりが、さすが国際フェリーと、十分楽しむことができた。こんな形ができるのなら、国内フェリーでも、わざわざ専門の芸術家を呼んでこなくても楽しいのではないだろうか。ゲームでもクイズでも、なんでもいいのだが。

朝5時、なんとなく目が覚めて外を見たら関門橋のすぐ手前だった。反航船が見える左舷側の部屋だったので、しばらく見ていたが、反航船は1隻のみ。その後、しばらくウトウトして再度、起きたら、船は結構、縦に揺れていた。外を見たら、白波はほとんど無かったが、どうやら3mくらいのうねりがかなりあるようだった。

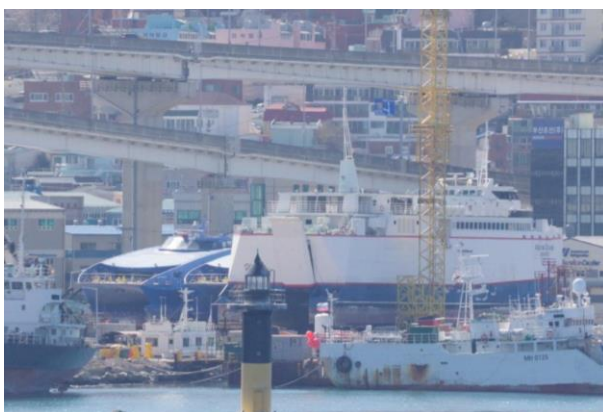
7時半から今朝も“マスカレード・ラウンジ”でビュッフェ形式の朝食となったが、何人かは船酔いで席に来られなかったようだった。韓国式の朝食が、また目新しく楽しい。ただ、ここではコーヒーが無かったので、パンとジャムをもらって、船首のラウンジに移動して、コーヒータイム。その後は、おしゃべりしたり、シップウォッチングをしたりして過ごした。特に、反航船がどうかということで気にしていたが、期待していた「クイーン・ビートル」はかなり対馬よりを走っていて、米粒ほどにしか、見る事ができなかった。

釜山港へ近づくと停泊船が多くなり、右舷側にずらりとコンテナ船が一直線に並んだコンテナターミナルが日本にはあまり無い光景だ。巨大コンテナ船がここでは見られない（西側の外港を利用）のが残念だが、国内ではあまり見られないコンテナ船も見られた。

船は12時少し前に釜山国際フェリーターミナルに着岸し、それからは各自の自由行動となった。



港内で追い越して行った高速艇「パンスター・ツシマ・リンク」



釜山港大橋の内側のたもとにいた「ALPHA CRUISE」
日立造船で建造した元、「シーバード」（長崎～串木野）
左に高速艇も



釜山港に着岸した「パンスタードリーム」

3. 釜山から大阪へ

前日はかなり苦労して行った地下鉄1号線の釜山駅から行動を開始したが、地下鉄内のアナウンスで釜山国際フェリーターミナルの最寄り駅は隣の草梁駅とされていたので、ここで降りてター

ミナルに向かったが、これが大失敗で、とても分かりにくく、途中で通行止めの箇所に入ってしまったりで、集合時間の13時にかなり遅れてしまった（皆さん、すみませんでした）。

13時半からチェックインで14時から乗船開始、船は15分早い14時45分に出港した。この日は、昨日と違って穏やかだが海上はモヤモヤの天気。視界は悪かったが、昨日、池田事務局長が見つけたと言う、元、道東観光開発の網走／知床の砕氷観光船「おーろら2」を探したり、釜山国際クルーズターミナルに入港中の「NAVIGATOR OF THE SEAS」等を見ながら出港した。



釜山港大橋の外側のたもとにいた「AURORA II」
元、道東観光開発の「おーろら2」（中央）



筆者は日本では見たことのないタイプのコンテナ船
「CHANG YUE 1」（中国船）



RCIの「NAVIGATOR OF THE SEAS」
以前と比べると船尾のウォータースライダーがすごい



釜山港外にいた韓国海洋警察庁の警備救難艦 1501

この日の海上はうねりも無くなり、いたって穏やか、夕食まで風呂に入ったりしてのんびり過ごした。18時半から、全員で夕食。この日は和食仕立てのビーフステーキ。パッと見たとき、クルーズ船のメイン食堂のステーキより厚くて大きいなと思ったのが筆者の第一印象。これも十分



全員での夕食風景



この日の夕食に供されたビーフステーキのセット

堪能した後、この日は 20 時 15 分からレストランでクルーによるショー。前日と同じ女性司会者（クルーズ・ディレクターと言ってもいいか？）の進行で、ギター、歌（これは司会者本人）、ビールの早飲み競争、そして最後は、バーテンダーの技披露。テレビのクルーズ番組では度々紹介されているものだが、筆者は実際に見るのは初めてだった。



ビールの早飲み競争
中央の 2 人が今回の学生参加者



バーテンダーのショー

それが終わったら、ちょうど関門海峡通過中の紹介があり、ほとんど人が後部のカフェ夢付近に上がっていったが、ちょうど小倉の沖くらいで、しばらくして関門橋下を通過した。その後は、みんなで少しお酒を飲んだ後、部屋に戻った。

部屋に戻って、いざ寝ようと部屋の電気を消したら窓いっぱい灯が広がっていてビックリした。もうすぐ姫島沖と言うところで、双眼鏡でよく見るとオレンジ色のファンネルマークがハパクロイドの船だ。調べてみたら、「EUROPA」で、長崎から別府に向かう途中で、どうやら朝の入港に備えて 5 ノットでノロノロ航行しており、20 ノットのこちらはあっという間に追い越して行った。また、調べてみたら、その後、ドック明けで通常はこの時間にこの付近にはいない「フェリーおおさかⅡ」と反航することになり、なかなか寝ることができなかった。

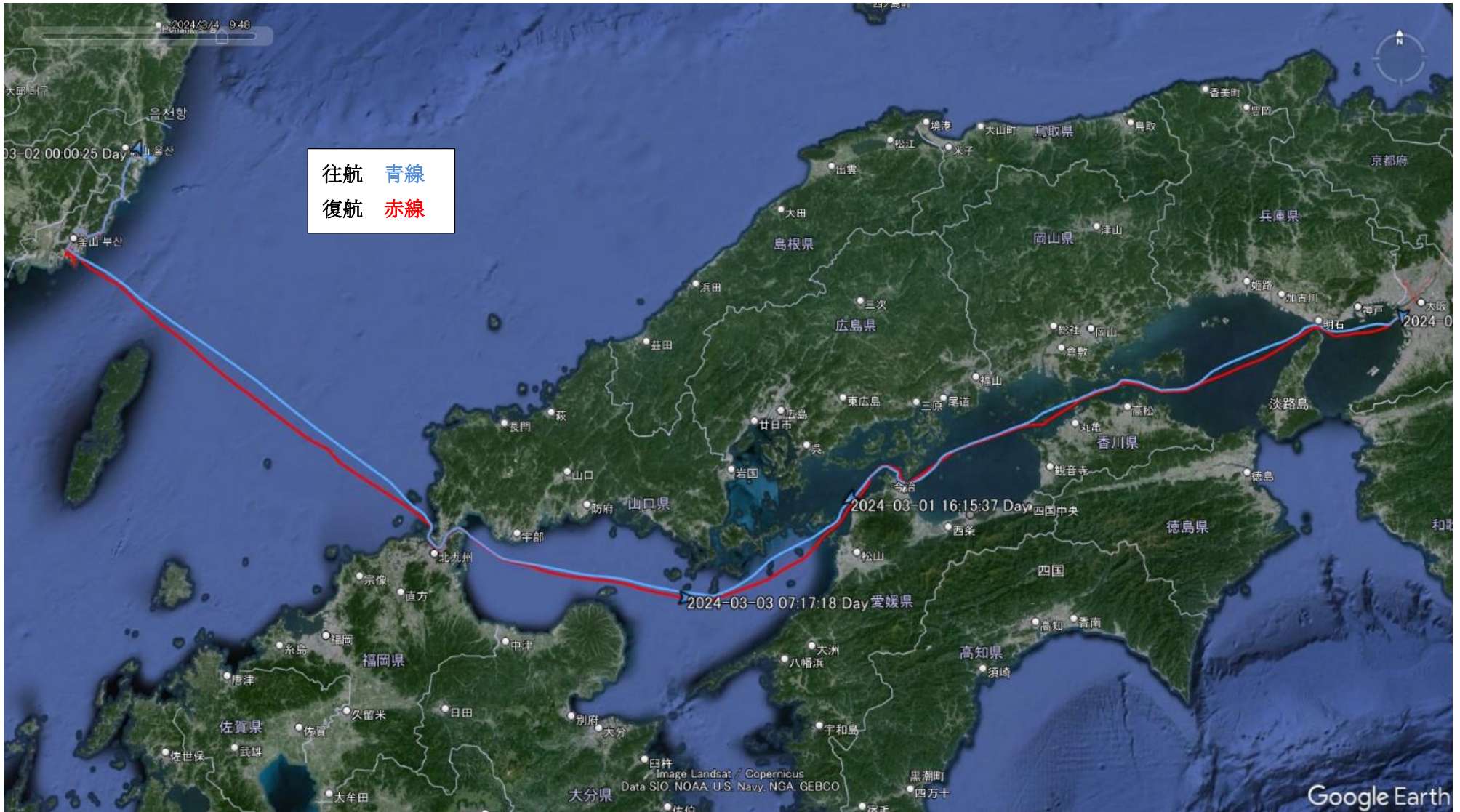


姫島沖の手前で「EUROPA」を追い越す

翌日最終日、7 時半からの朝食は前日と同じで、その後、やはりラウンジに行って、明石海峡大橋の通峡を見ながらコーヒータイムを楽しんだ。その後は、神戸空港に着陸する航空機を真上に見たり、シップウォッチングをしたりしているうちに、定刻より 40 分程早く大阪南港に入港し、入国審査後、解散となった。



大阪南港に帰着した後の「パンスタードリーム」



今回の往復航海図

小さくてわかりにくいですが、今回の来島海峡は往復とも逆の左側通行となった

【参考資料1】就航時のチラシの裏面

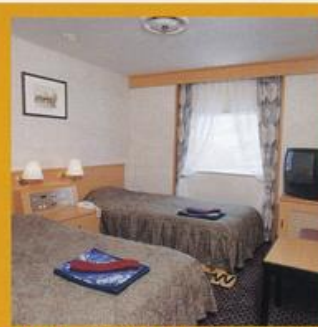
浴衣でくつろぐ日本の船旅
さんふらわあ くろしお



■エントランスホール フロント、カード専用電話、自動販売機コーナーなどが設けられたオープンスペースです。十分なスペースと採光を確保し、ダンスホールにも利用できる多目的ホールです。

平成9年7月1日から、東京～那智勝浦～高知航路に新造船「さんふらわあ くろしお」が就航しています。太平洋を流れる黒潮にちなんで名付けられました。

この新しいフェリーのコンセプトは“ニッポン”。今までのフェリーでは体験できなかった「浴衣でくつろぐ船の旅」を存分に堪能できます。「さんふらわあ くろしお」の登場によりフェリーの旅は変わります。



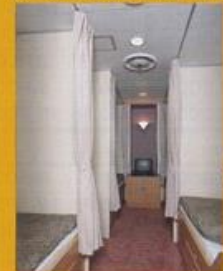
■特等室 “くつろぎ”を基本コンセプトに、シンプルな色合いとすっきりとしたレイアウトを採用しました。落ちついた雰囲気はお客様に“くつろぎ”をお約束します。全室海側で窓付き、定員は2名（ツインベッド）。トイレ、シャワーも完備しています。



■1等A 1等Aも特等室と同じく落ちついた雰囲気の室内装飾とレイアウトが特徴です。定員は2名（ツインベッド）+1名（ソファベッド） 全室海側で窓付きとなります。トイレ・シャワーも完備しています。

仮眠室のご案内

那智勝浦での入出港時間に合わせて、那智勝浦フェリーターミナルの仮眠室が無料でご利用いただけます。東京行きの船が到着する時間（午前3時30分）までお休みいただけます。また高知从那智勝浦下船の方もぜひご利用ください。



■1等B 1等Bは4名（一段ベッド×4）定員、個室構造なのでプライバシー性も十分。グループでの利用におすすめの部屋です。



■2等寝台 船内における利用者のプライバシー性をメインポイントに、定員4名（二段ベッド×2）の個室構造を採用しました。

東京発	→那智勝浦	高知着
19:50	08:05着 08:35発	16:20
高知発	→那智勝浦	東京着
20:20	03:30着 03:50発	16:00

■東京発：奇数日（31日除く） ■高知発：偶数日

さんふらわあ くろしお 主要目	
■総トン数	9,700トン
■全長	160.0m
■幅	25.0m
■深さ	8.3m
■計画喫水	5.9m
■航海速度	22.7ノット

等級	定員	室数	合計
特等室	2名	30室	60名
1等A	2+1名	30室	90名
1等B	4名	50室	200名
2等寝台	4名	25室	100名
2等和室	20名	2室	40名
2等	20名	2室	40名
合計	-	139室	530名



■展望浴室 露天風呂に浸かっているような雰囲気いっぱいの大きな窓を持つ浴室です。サウナも併設しています。



■2等和室 宴会場としても使える和室を2室ご用意いたしました。センターの仕切を外すと40名収容可能な宴会場としてご利用いただけます。

■パーティールーム カラオケやグループでのパーティ等にご利用いただけます（有料）。



■レストラン エントランスホールに隣接した一度に150名が食事できるワイドスペースのレストランです。くろしおならではのオリジナルメニューをご用意しております。レストランはすべてセルフサービスとなっています。



東京都港区海岸1-11-1ニューピア竹芝ノースタワー10F
 ●東京予約センター☎03-3578-1127 ●大阪予約センター☎06-203-4451
 ●東京港支店☎03-3520-0411 ●高知支店☎0888-31-0520 ●那智勝浦営業所☎07355-4-0004

【参考資料 2】

